

## 第360回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日時 在宅聴取による遠隔開催
2. 番組聴取合評 [番組名] 新人アナウンサー鈴木愛実の担当番組  
[放送日時] ニュース(4月1日(水) 15:03)  
K-mix 鳴ルホド! 楽器部(4月4日(土)21:55~22:00)  
鈴木愛実のミレニアルバブル(4月3日(金)25:00~26:30)  
[出演者] 鈴木愛実
3. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 副委員長 角田哲康 委員 小野晃司  
委員 山本りさ 委員 服部乃利子 委員 加藤裕治
4. 番組審議  
[番組名] 新人アナウンサー鈴木愛実の担当番組  
[放送日時] ニュース(4月1日(水) 15:03)  
K-mix 鳴ルホド! 楽器部(4月4日(土)21:55~22:00)  
鈴木愛実のミレニアルバブル(4月3日(金)25:00~26:30)  
[出演者] 鈴木愛実

### [聴取・合評での主な意見]

#### 小野委員

##### ◆ニュース

ニュースは詰まる場面が何か所あったが落ち着いて正せる。声も聞き取りやすい間の取り方ができる。後半は若干であるが棒読みの印象がある。

##### ◆K-mix 鳴ルホド!! 楽器部

さわやかな語り。二胡についての説明もわかりやすい。自分の経験談も交えており親しみを感じる。選曲も音色も軽くて良い。

##### ◆鈴木愛実のミレニアルバブル

新人による深夜番組。ミレニアル世代ならではのテーマを紹介。どのコーナーでも自分なりの所見を丁寧述べている。本人は関西出身だが両親が浜松出身という親しみを感じさせる工夫あり。アニメ声(高く細い)は磨けば輝く個性になる。独特の世界観を感じさせる番組編成ができれば人気が出そう。

#### 角田副委員長

キャラクターが明るく、声質も良く、聞いていて楽しくなり、会って話したくなる親近感が持てる。今後は非常に楽しみで、大いに期待が持てる。ぜひ大切に育てて欲しい。番組別に声のトーン、しゃべりのスピードを変えている点も高評価。

課題:「一杯で視界をぐらつかせる」など、ユニークな表現力を持っているが、リスナーへの「対応力」と「ラジオとしての描写力(音だけで映像が無い描写力)」が今後の鍵。

関西人・弁を売りに使うのなら、もう少しメリハリをつけた方が良い。基本は標準語だが、単語のアクセントに違和感がある。しかししゃべり全体は、標準語。このバランスを修正するか、個性化するかを考えると良い。「ミレニアルバブル」の中で、リスナーから関西について尋ねられたが、「私は関西弁があまり好きではない」と応え、その後「もやもレター」では「関西弁で解決」とするのは？？？関西弁の使い方があまりに部分的で、そちらの方が「もやもや」してしまう。自分の関西観ではなく、リスナーが求めている、知りたい関西を提供するという視点が必要なのでは・

番組別コメント：

初ニュース：ゆったりして聞きやすく、ニュースらしい読み方が出来ている。ニュース読みに声の質が向いているが、アクセントに注意。初回なので「かみかみ」はあったが、まずは無難なデビュー

K-mix 鳴ルホド！楽器部：ニュースと声質を変えているが、内容的にはもう少し落ち着いたトーンでも良いのでは。しゃべりはとても良い。新人とは思えなかった。イントロが長過ぎて、いつ始まるのかじらされる。今回が初回なのならば、番組のコンセプトがよくリスナーには分からない。数回経た様な進め方だった。楽器の特徴説明をもう少し「ラジオ的」にした方が分かりやすい。形状、大きさなどの説明、そして今回は「ビブラート」が特徴ならば、そのビブラート音だけ聞かせるなどの工夫が欲しい。その上で演奏者、曲の特徴が説明されると演奏曲への関心が高まって聞くことができる。

ミレニアルバブル：まず楽しかった。このしゃべり、声質が彼女の持ち味なのでしょうね。私は気に入りました。学生しゃべりとアナの中間路線的な印象ですが、このままで続けられたら、個性立ちして面白いと思います。その一方で上手に進めていかないと飽きられてしまう可能性もあります。各コーナーは個性的な設定でとても楽しく聞けました。

加藤委員

新人とは思えない声やリズムで驚いた。「初鳴き」のニュースは拙いところや声質がやや変わるところもあったが、フレッシュさもありながら、滑舌も良くて聞きやすかった。

「鳴ルホド !! 楽器部」は、鈴木さん自身が体験した楽器の説明であったためか、滑らかな口調で、楽しく聞くことができた。また番組内容も、短いながら音楽と音の両面を楽しむことができ、ラジオ番組ならではの番組だと思う。楽器の説明やエピソードがコンパクトなもの、音に集中できるのでとても良い。

「ミレニアルバブル」のオープニングのトークには、新人離れしたものを感じた。深夜感を出した声質で、内容も若者向けの話で大変興味深い。「本日の"key"ワード」も自身の感覚や意見から、トークを膨らませる能力の高さを感じた。またエンタメのセリフに注目するコーナーもラジオとマッチするだけでなく、鈴木さんのトークの面白さで引き込まれた。ただし、トークの中で一点気になったのは、さらっと関西弁を「少し汚い感じがする」と発言したところである。本人が関西出身であるとのことに加え、直前に「あまり好きではない」という流れの中で出た言葉だったので、特に気にする必要はないが、聞く人によっては強い響きを持つ言葉であるとも思った。ただし、現時点で表現をあまり気にする

と、鈴木さんのリズムとテンポの良さが失われてしまうと感ずるので、今後の表現の磨き上げや言葉の選り方の成長に期待したいと思う。なお「ミレニアルバブル」後半は、本人も長さを感じていたようにやや疲れたのか、声質が変り前半の柔らかさとはやや異なっていた。ただし関西的なイントネーションが端々に現れ始めて、逆に、別の引き出し的な、表現のバリエーションの多さに感じとれた。

いずれにせよ、初めてのパーソナリティで1時間以上の番組を、これだけ展開できる力は驚きでしかない。新人とは言い難いトーク力と安定感、またリズムとテンポの良さ。今後の活躍が大変楽しみである。

## 山本委員

### ・初ニュースについて

バックの曲に煽られているように感じる部分もありましたが、落ち着いた声で丁寧にニュースを伝えようとする姿勢は伝わってきました。

### ・鳴るホド！楽器部について

愛実さんが学生時代に二胡の経験があるのであれば、もう少しわかりやすく二胡の魅力を伝えることができるのではないかと感じました。2本の弦を間に挟んだ弓で弾くと早口で言われてもなかなか伝わらないと思いますし、ビブラートの難しさも「1秒もできなかった」というよりもどう難しかったのかが上手く伝えられれば、「二胡の魅力をみなさんと一緒に解き明かす」に近づくのではないかと思います。

### ・ミレニアルバブルについて

普段の愛実さんはこんな感じなのかなと思う番組でした。

最初はアナウンサーさんの番組として聴いていたので、「先ずはねー」や「あとはねー」の「ねー」がとても気になりました。「めちゃくちゃ〇〇」が多いことや、「お花を貰うと死ぬほど嬉しい」という表現なども気になりましたが、深夜帯の同世代向けの番組のパーソナリティさんということであれば、親近感があり、楽しそうに話されていたので、良いのかもしれないと思いました。個人的には、より愛実さんらしさが伝わりそうな「Noメロディ」が始まるのが楽しみです。

愛実さんは、番組に合わせて話し方や声のトーンを変えていて、どれも聴きやすい声でした。そして、リスナーのみなさんに愛されるアナウンサーさんになりそうな感じがしました。

## 服部委員

鈴木さんの声は、可愛くて明るく、また活舌も良く聞きやすい声で、印象がとても良いです。ニュースは、まだ少しぎこちなさが目立ちます。文章読まされている感じです。読み間違いは、緊張が解ければ修正できるでしょう。レアな楽器を扱う番組は良いですね。今回、二胡のきれいなビブラートが聞ける楽曲を紹介してもらいたかったです。ミレニアルバブル、90分の長丁場を一人で良く頑張っていたと思います。サブスクリプションや花より男子コーナーなど、彼女のテリトリーとはいえ、実に楽しそうなトークで、リスナーは引き込まれたと思います。身近な話題として展開するので、リスナーは距離感が近いと感じたでしょう。一生懸命リスナーに話しかけながら、時々出る関西弁と少し舌足らず的なしゃべり方は特徴的で印象に残りますね。同世代だけでなく、ファンが付くと思います。今後の成長がとても楽しみ！です。

木宮委員長

①ニュース読み

初めてということもあって、緊張感が強くつたない印象。声は聞き取りやすいが、アナウンス技術に関しては今後の成長が期待される。

②鳴ルホド！楽器部

ニュースと違って声がかもっていて（エコーの関係でしょうか？）聞き取りにくい。BGMの音が大きいのので、特にそう感じる。内容については、いきなり曲をかけるのではなく、先に曲名や楽器、ポイントなどは知りたいのではないかと思われる。番組の企画としては面白い。

③ミレニアルバブル

アナウンサーというよりはタレントの話し方という印象。語尾が上がる若者アクセントがその印象を強くしている。新人のうちはそれが売りになるかもしれないが、どこかで方向性を考える時期が来ると思われる。

90分間一人で話し続けられるのは、単純にすごいと思う。トーク内容も比較的面白かったし、鈴木さんの魅力を何となく感じる事ができた。

番組内容は聞き流しであったが、楽しく拝聴した。リスナー受けも良いのではないかと思われる。

全体的に新人としては、十分なポテンシャルを感じる事ができた。今後の活躍が期待される。

ゲストとのクロストークなども聞いてみたいと思われた。

会社サイド

前回(第 359)回ではユウミの柔らかくて優しい声が日曜朝に聴き易いなどの評価を頂いた一方、ナレーションの緩急が少ない点などについてご指摘頂きました。今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

次回開催日 令和2年5月12日(火) 11:00~12:30を予定

以上

番組審議会委員長

木宮敬信